

清水町 町名変更に関する住民説明会 要旨

令和8年2月6日（金）18：30～20：05

御影公民館 2階 講義室

出席者：29人

説明員：・町長、西田副町長、鈴木企画課長、藤田総務課長

事務局：佐藤企画課長補佐、青砥企画統計係長、有田企画統計係主事

1 開会

2 町長あいさつ

3 情報提供

別紙資料について説明（鈴木課長）

4 意見交換

○住民投票の結果で町名変更の有無を判断するとのことであるが、住民投票に法的な拘束力はないとの話なので、結果はあくまで参考であり、最終判断は町が行うのか。

→（鈴木課長）

法的な拘束力は無いが、住民投票の結果を尊重する。

○町名変更に関して総額でどの程度の費用がかかるのか。

→（鈴木課長）

看板等については数を把握しきれてはいないが、大きな費用については資料のとおりである。

○通帳の住所変更等、住民の手間は大きいのではないか。

→（鈴木課長）

通帳について、町内にある金融機関では住所変更を金融機関で対応するため、預金者に負担は発生しないが、各インターネットサイト等の住所登録は変更が必要になる場合が多いと認識している。

○丹波篠山市の事例で住所変更の代行が発生し、詐欺等に繋がっている事例もある。清水町として対応はできるのか。

→（鈴木課長）

町としても必要に応じた周知を行い、そのようなことが起こらないよう周知していきたい。

○住民投票するにあたっての要件はどのように定める予定か。また、いつ頃実施予定か。

→（鈴木課長）

住民投票は住民の意見を聞ける最良の手段と考えている。投票範囲は18歳以上を基準に検討しているが、いろいろないただいたご意見を踏まえて、中学生以上にはなんらかのかたちで意見を聞いていけたらと思っている。決まり次第お伝えしたい。

（町長）

町名変更は努力を結果につなげるために、まちの認知度を上げるスタートだと思っている。すでにJAやJR、高速道路のICで使っているため、正式名称として統一化していきたい。必要な情報を充分皆様に提供した上で、スピード感をもって判断し、どちらの結果になっても結果に基づいた最良のまちづくりを行っていきたい。ただまちの名前を変えるだけでなく、町名変更後は企業誘致などにより働く場所を増やし、暮らしを豊かにしていきたい。

○住民投票で反対者が多かった場合は白紙に戻るのか。

→（町長）

そうである。

○住民投票について18歳以上で投票を行うのであれば、それ以下の年代の方々にもなんらかのかたちで関心をもってもらい、参考でもいいので意見を聞けないのか。町名は今後の長期的な問題なので時間をかけて検討すべきである。

→（鈴木課長）

18歳以下の方々の意見はとても重要であり、投票の年齢や関心をもってもらえるような取り組みも含め検討したい。学校とも協議の上検討を進めていく。

○企業への支援について、概算の金額は決まっているのか。また、企業側の負担の調査等は予定しているか。

→（鈴木課長）

丹波篠山市の例を参考に、住民投票前にどのように考えているかは改めてお示ししたい。調査方法は検討していく。

○ふるさと納税は自治体名よりも返礼品の内容で選ばれる場合が多い。自治体で寄附を選ぶ寄附者は全体の20%程度とのデータもある。

→（鈴木課長）

返礼品で選ばれることが多いのは認識している。次年度は外部からのアドバイスもいただきながら、どのような取り組みができるか考え、寄附受入額の増加を目指していきたい。

○5月に住民投票というのは、町民の考える時間が少ないと感じている。

→（町長）

いただいたご意見を踏まえ、いろいろなことを決定していつている。更に分かりやすい詳細な資料や今後のスケジュールなどについて、改めてお示しする予定である。

○学校や仕事の関係で一時的に清水町を離れる場合の投票権はどうなるのか。

→（鈴木課長）

住民投票条例の中でどうするのか検討していく。

○投票率が低かった場合はどのような対応になるのか。

→（町長）

投票率に関しては有効無効等の制限は設けない方向で考えている。

○町名に十勝をつけた場合、清水のイメージアップではなく十勝のブランドにのっかるだけの話で、清水が残らない心配がある。

→（町長）

ブランド力を向上させる取り組みとして有効だと思う。十勝のイメージと清水のイメージが融合し、より良いイメージが沸くと思う。

○住民投票は、投票率が一定数を超えないと町民は納得しないと思う。投票率が確保できるまで説明会を開き、丁寧に説明していくことも必要ではないのか。

→（鈴木課長）

住民投票条例の策定にあたり、慎重に考えていきたい。

○清水町の名前を変えられるのは極めて遺憾である。外からくる人の気持ちではなく、清水に今住んでる人の気持ちを大切にしてほしい。

→（町長）

急速に変化している社会情勢のなかで、同じことを続けていたら後退していくと考えている。この町を変えないために変えていく必要がある。

5 閉会